

記入例

【論文掲載区分】 原著論文

【論文題名（和文）】

「薬学教育」への投稿について

【論文題名（英文）】

About a contribution to “Japanese Journal of Pharmaceutical Education”

【欄外見出し（和文：全角 30 文字以内，英文：半角 45 文字）】

「薬学教育」への投稿

【著者名（和文）[連絡者には「*」を付ける]】

薬学 太郎^{1*} 学会 花子² 教育 三郎¹

【著者名（英文）[連絡者には「*」を付ける]】

Taro Yakugaku^{1*} Hanako Gakkai² Saburo Kyoiku¹

1 【所属名（和文）】

2 ¹ 薬学大学薬学部

3 ² 教育大学薬学部

5 【所属名（英文）】

6 ¹ Faculty of Pharmaceutical Sciences, University of Pharmaceutical Sciences

7 ² Faculty of Pharmaceutical Sciences, University of Education

9 【連絡者情報】

10 連絡者名：薬学 太郎

11 連絡者住所：〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入

12 所属機関名：薬学大学薬学部

13 電話番号：075-441-3155

14 e-mail アドレス：jjphe-ed@nacos.com

1 【和文抄録（400 字以内）】

2 本誌は「薬学教育およびその関連領域に関する論文の掲載」を目的とし
3 て刊行する。刊行形態は J-STAGE 電子ジャーナル公開システムを利用し
4 たオンラインジャーナル，冊子体は年 1 回とする。通常は採択された論
5 文を，順次 PDF として J-STAGE に公開する。年 1 回，1 年間に発表され
6 た論文をまとめて冊子体として刊行する。

7
8 【日本語キーワード（5 語以内）】

9 薬学教育，オンラインジャーナル，J-STAGE

1

2
3
4
5
6

8

9

原稿様式

1) 原稿は、定められたテンプレートファイルを用いて作成し、数字、記号は半角文字を用いること。2) 原稿は表紙、抄録、本文（原則として、「目的」、「方法」、「結果」、「考察」、「文献」の順序とする。「総説」、「実践報告」では形式が異なっても差し支えない）、図表説明文、表、図、の順とする。3) 表紙に論文題名、著者名、所属名を和文、英文の両方で記載し、最後に連絡著者の住所、電話番号及び e-mail アドレスを明記すること。表紙の右肩に論文の掲載区分「原著」、「短報」、「総説」、「実践報告」を明記する。著者の所属が複数の場合は、上付きの数字を著者名の後に付す。連絡著者は上付きの＊を所属番号の後に付す。4) 本文が和文、英文にかかわらず、和文抄録（400 字以内）、英文抄録（250 語以内）、キーワード（日本語・英語でそれぞれ 5 語以内）を付ける。キーワードは原則として単語とし、長い文になることは避ける。また英文抄録については投稿前に必ずネイティブスピーカーによる校閲を受けること。5) 図（グラフ、写真を含む）や表は、本文末に 1 枚ずつそれぞれ別紙に添付する。いずれも明瞭なものであること。6) 電子付録（Supplementary materials）については、著者の申し出があり、かつ編集委員会が適当と判断する場合、J-STAGE に掲載することができる。電子付録がある場合は、本文の最後（利益相反の後）に「この論文の J-STAGE オンラインジャーナル版に電子付録（Supplementary materials）を含んでいます」と記載すること。

原稿の長さ

1) 本文、図表を含めて、「原著」は A4 判用紙 16 枚（約 12,800 字：本誌刷り上がり 8 ページ相当）以内とする。「短報」、「実践報告」はそれぞれ 12 枚（6 ページ相当）以内とする。2) 図、表は原則としてそれぞれ 1 点

を A4 判用紙 0.5 ページとみなす.

用語

1) 新かな遣いを用い,本文中の外国人名・地名は原語あるいは英語を用い,薬品名は原則として一般名で書くこと.特定の薬品,機器・材料などを記載するときは,商品名,商標または登録商標であることを明示すること.一般名と併記する場合は,一般名を優先し,商品名等をカッコ内に示す.2) 論文中で繰り返される語は略語を用いて差し支えないが,初出の際には省略せずスペルアウトすること.ただし,附録 1 に示した語についてはスペルアウトせずに使用できる.3) 度量衡は SI 単位系(mm, cm, mL, dL, mg, kg など)を用いること.

利益相反

本文の最後(参考文献の前)に,「利益相反」として必要事項を以下の例を参考にして記載すること.

1) 開示すべき利益相反がない場合

【記載例】 発表内容に関連し,開示すべき利益相反はない.

2) 開示すべき利益相反がある場合: 著者名と開示する内容を記載する.

【記載例】 発表内容に関連し,開示すべき利益相反を以下に示す.

1. 役員・顧問: あり(著者名, XX 製薬)
2. 株保有状態: あり(著者名, XX 製薬)
3. 特許使用料: あり(著者名, XX 製薬)
4. 講演料・原稿料: あり(著者名, XX 製薬)
5. 受託研究費・共同研究費・奨学寄付金: あり(著者名, XX 製薬)
6. 寄付講座所属: (著者名, XX 製薬)

参考文献の書き方

参考文献は本文と直接関係のあるものに止め,本文中で引用する都度,

順次上付きの算用数字で番号を付け、参考文献欄に番号順に列挙する(バンクーバー方式)¹⁾。文献の書誌情報の記載は「生物医学雑誌への投稿のための統一規定」に準ずるが、著者・共著者は3名まで記し、4人目以降は「他」「et al.」を用いて省略する²⁾。和文誌は完全誌名、英文誌は Index Medicus 採用の略誌名を使用する。附録2の記載例を参考にすること³⁾。

原稿データフォーマット

原稿データは以下のフォーマットを推奨する。ファイル名は半角英数字のみを用いて付け、ファイル名にスペース、ピリオド、①②などの丸囲み数字、Ⅰ、Ⅱなどの全角ローマ数字は使用しないこと。ファイル数の制限(原稿チェック票を除いて4個以内)があるため、複数の図表は Excel のシートに分けて作成するなど、1つのファイルにまとめることが望ましい。

本文：Microsoft Word 形式(テンプレートファイルを入手して使用すること)。表：Microsoft Word 形式、または Microsoft Excel 形式。図(グラフ・写真)：Microsoft PowerPoint 形式、Microsoft Word 形式(ファイルに貼り付ける場合は解像度に留意すること)、PDF 形式、PSD 形式(Adobe Photoshop)、AI 形式(Adobe Illustrator)

※刷り上がりを考え、明瞭な図にすること。カラーで作成する場合、J-STAGE ではそのまま表示されるが、冊子体はモノクロ印刷であることを想定して配色・コントラスト等に注意すること。

※解像度については以下の設定が望ましい。

[写真] 仕上がりサイズ 300 dpi [線画] 仕上がりサイズ 1000 dpi

不明な点は編集事務局に問い合わせること。

利益相反：発表内容に関連し、開示すべき利益相反はない。

1 文献

- 2 1) 半谷真七子, 松葉和久, 松井俊和. 薬学生の臨床コミュニケーション
3 教育の評価としての客観的臨床能力試験 (OSCE) の試みとその評
4 価. 医療薬学. 2005; 31(8): 606-619.
- 5 2) Elmore L, Skelley J, Woolley T. Impact of adapted team-based learning
6 methods on student self-assessment of professionalism, teamwork, and
7 skills in a self-care course. Curr Pharm Teach Learn. 2014; 6(4): 488-493.
- 8 3) 工藤一郎. ‘薬学’ 21 世紀日本への発信—日本学術会議薬学系三研
9 連合同シンポジウム—. 鶴尾 隆, 桐野 豊, 工藤一郎, 辻 彰編, 東
10 京: エルゼビア・ジャパン; 2004. p. 60-67.

1 【図表説明】

2 図 1 投稿フロー

3 表 1 編集委員会リスト

4